

人権教育
ともに生きる 120
立派な人

今回も稲田繁生さんの講演から紹介します。先生は、敬徳高校の生徒たちに「偉い人にならなくても良い、立派な人になりなさい」と諭されているそうです。皆さん、良くご存知の教えに「ナンバーワンたらずとも、オンリーワンたれ」

近年、高等学校や小・中学校で（市内の小学校でも）「オンリーワン運動」に取り組みられていると聞いています。

私たちは、偉くなりたいと願ひ、一番になりたいという思いが強いですね。稲田さんは違います。

人は誰でも他の人にはない良さ（個性・特

性）があります。自分を誇りに思える人になろう。人として、心がけたいことをきちんと守り、他の人の良さを認め、大切にし、お互いは傷つけあうようなことをしないようにしよう。と教えておられます。

このことわざも、よくご存知でしょう。「実るほど 頭をたれる 稲穂かな」自分は、偉いんだ。と思ひ込んで、他の人を見下し、時には、いじめ、差別をするようなことがないように自省したいと思ひています。

大人社会（私自身）からいじめがなくならない限り、子どもたちの間のいじめはなくなりません。中島弘之



図書館へ出かけよう。

【休館日】 4 / 2 (月) 9 (月) 16 (月) 23 (月) 29 (祝) 30 (月) 5 / 3 (祝) 4 (祝) 5 (祝)

話題の新刊 おすすめの本

おへそ曲がりの贈り物 廣田 尚久 作



自称「おへそ曲がり」の女性からの依頼は、将来のある児童養護施設の子もたちに遺産を寄附して欲しいということだった。死を生に確実につなげるために奔走する弁護士が綴ったノンフィクション。

百まいのドレス エレナー・エステイス 作

「ドレスを百まい持っている」と言うワンダを、クラスの人気者のペギーがからかいます。どんなところでも、どんな人にも起こりうるいじめや差別の問題を、むずかしい言葉を使わずに描いた作品。



ぜつぼうの濁点 原田 宗典 作



絶望の「ぜ」の字の濁点として長年仕えていた「」は、あまりに辛そうな絶望の姿に申し訳なく思い、自分を捨ててくださいと頼む。絶望より切望の方がいいかなと思って…。ひらがなの国の物語。

その他 おすすめの本

- ◆ 僕は運命を信じない 坂本博之物語 (田中 耕)
- ◆ たぶん最後の御挨拶 (東野 圭吾)
- ◆ カーライルの家 (安岡 章太郎)
- ◆ 戦場のニーナ (なかにし 礼)
- ◆ 折り紙で作る花のくすだま (久保 満里子)
- ◆ くまのがっこう (あだち なみ)
- ◆ ねことらくん (やまわき ゆりこ)
- ◆ ぼくのうちはゲル (バーサンスレン・ポロルマー)
- ◆ タツノオトシゴ (ジョン・ローレンス)
- ◆ ガッタンゴットン (スズキ コージ)

市民文芸

《夏の芽短歌会 多久夏の芽互選》

父方の従兄逝きたり卒論の手ほどき受けし香かなる日よ 尾形 節子

握手せし吾が手の冷えを氣遣いて 孔徳戀女史が肩抱さくるる 本田 静香

車上よりヤンキーっぽい青年が先に渡れとクラクション鳴らしぬ 浦野 嘉恵

あんまりと迷惑かけずほどほどに 長生さしたき吾の本心 福島那智子

凍て土を押し上げてくる路の臺 大氣のゆるびひたすらに待つ 川浪 信子

《楳樹句会 楳樹句会互選》

白梅の移り香まとふ墓参かな 不二見恵美子

みどり子の一步に拍手春日さす 野田キヌ子

車椅子右手にゆれる冬薔薇 春田 泰子

寒がりの顔もほころぶ梅見かな 山口 秋子

干拓の破れつくしたる蓮かな 今泉 節子

《多久川柳会 林口 岳生選》

包丁の切れ味を食う活け造り 松下 修

オール電化料理もチンと出来上る 高塚チカ子

流石プロしびれる喉の節回し 富安 正喜

目減りする年金手取り打つてなし 武富よう平

鍋料理愚痴も不満も溶けてゆく 田代まつこ